

企業価値の最大化に向けた経営戦略【概要】

(社)日本経済団体連合会

「当面の経営戦略」と企業価値

大手企業1,650社の財務データ、株価データをもとに分析

- 収益力の強化 [売上高経常利益率の上昇]
- 成長力の強化 [売上高の伸び]
- 健全性の強化 [利払い費(営業キャッシュフローに対する割合)の減少]
- 株主への還元 [配当性向の引き上げ]

いずれの経営戦略も、**確実に企業価値を高めている**

当面の経営戦略から説明できる「理論値」と
現実の企業価値

(現実の企業価値)

「企業価値のプレミアム」

当面の業績を上回る
企業価値(プレミアム)を
生み出している企業も

「理論値」と現実とは
概ね比例しているが、
企業ごとのバラつきも

(理論値)

「収益力の強化」に向けて

- ・労働生産性の上昇
- ・1人あたり人件費の抑制
- ・有形固定資産回転率の上昇
- ・売上高の伸び

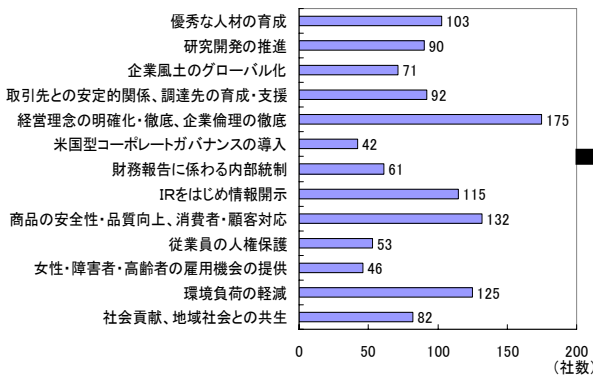
いずれの取り組みも、**確実に「収益力の強化」につながる**

中長期的な経営戦略に注目

「中長期的な経営戦略」と企業価値

各社の取り組み(アンケートへの回答内容)と「企業価値のプレミアム」の関係を分析

日本経団連会員企業(306社)へのアンケート結果
—「他社よりも進んだ取り組み」を行う分野—



「企業価値のプレミアム」につながる

- 優秀な人材の育成
- 中長期的な研究開発の推進
- 経営理念の明確化・企業倫理の徹底
- IRをはじめ情報開示の推進
- 女性などの雇用機会の提供
- 環境負荷の軽減

「企業価値のプレミアム」に中立的

必ずしも株主価値の増大には
つながっていない

米国型コーポレートガバナンス
財務報告に係わる内部統制

多様なステークホルダー重視は、株主価値に悪影響を及ぼさない
(→「企業価値の総額」は増大)

商品の安全性確保・消費者対応
社会貢献・地域社会との共生
取引先との安定的関係、調達先の育成・支援
従業員の人権保護

※企業価値とは、「企業が将来にわたって生み出すことを期待されている付加価値の合計」を指している。
 ※※株式時価総額を手がかりに分析を行っているが、手段を選ばず時価総額を引き上げる手法は長続きせず、真の企業価値向上とは無縁である。倫理に則った経営戦略こそが、企業価値の安定的な増大につながることを、分析結果は示している。